

# 第 82 回全国産業安全衛生大会参加ニュース

令和 5 年 9 月 27 日(水)～29 日(金)の 3 日間、名古屋市で開催された第 82 回全国産業安全衛生大会はオンライン併用の発表となりました。金沢衛生管理者研究会からは、7 名が参加しました。

以下は初めて大会に参加されたお二人の見聞録です。

後半には、倉元代表幹事ほか会員が参加した研究発表と講演の演題です。



**第 82 回 全国産業安全衛生大会**  
 名古屋の地で掲げよう  
 安全・健康の旗印  
 in 名古屋  
 開催期間 令和 5 年 9 月 27 日(水) → 29 日(金)  
 オンライン限定プログラム視聴期間：令和 5 年 9 月 27 日(水)～10 月 13 日(金)  
 会場 総合集会：ポートメッセなごや (愛知県名古屋市)  
 分科会：ポートメッセなごや  
 参加費 一般 1名 16,500円 (税込)  
 中災防賛助会員 1名 8,250円 (税込)  
 特別講演 総合集会 特別講演  
 「スポーツで未来を創る～ライフパフォーマンスの向上のためにスポーツが果たす役割～」  
 スポーツ責任者 室伏 広治 氏

**国内最大の安全衛生イベント 8年ぶりの名古屋開催**

**総合集会** 安全衛生に功績のあった方々の表彰、厚生労働省の講演、特別講演を行います。

**9月27日(水)** 会場 ポートメッセなごや  
 13:15～17:00 (開場11:30予定) 【アクセス】あおなみ線「名城公園駅」より徒歩5分【所在地】愛知県名古屋市港区名城公園2丁目2

**特別講演** 「スポーツで未来を創る～ライフパフォーマンスの向上のためにスポーツが果たす役割～」  
 東京オリ・パラ競技大会は「楽しさ」や「喜び」などスポーツの持つ様々な価値を改めて確認できた大会となった。今後このスポーツレガシーをいかに継承・発展させていくかについて、ライフパフォーマンスの向上のためにスポーツが果たす役割を中心にお話したい。スポーツ責任者 室伏 広治 氏

**分科会** 全国の事業場からの研究発表をはじめ、最新の安全衛生の課題に対応した講演、パネルディスカッション等、多彩なプログラムを予定しています。

**9月28日(木)、29日(金)** 会場 ポートメッセなごや

**講演** 9月28日(木) 13:00～14:00  
 「愛知労働局が提唱する「安全経営あいち」」  
 愛知労働局長 岡田 孝典 氏  
 愛知労働局長 岡田 孝典 氏 愛知労働局長 岡田 孝典 氏

**講演** 9月29日(金) 14:20～15:50  
 「化学物質の自律的な管理、何から始める？」  
 (化学物質管理活動分科会) (愛知労働局長 岡田 孝典 氏 化学物質管理研究センター 城内 博 氏)

**労働劇** 9月29日(金) 13:00～14:10  
 「パワハラ防止劇 大事な社員を会社嫌いにさせないために」  
 脚本・演出 愛知県下各労働基準協会 役員企業担当者・役員員

分科会名	日程	分科会名	日程
マネジメントシステム・リスクアセスメント分科会	9/28、29	労働劇	9/29
安全衛生活動分科会 (第1会場)	9/28、29	安全衛生教育分科会	9/28、29
安全衛生活動分科会 (第2会場)	9/28、29	ゼロ災害運動分科会	9/28
安全管理活動分科会 (第3会場)	9/29	労働衛生管理活動分科会	9/28
機械・設備等の安全分科会	9/28	化学物質管理活動分科会	9/29
DX等分科会	9/29	メンタルヘルス・健康づくり分科会	9/28、29

## 第 82 回全国産業安全衛生大会 in 愛知の感想 2023 年 9 月 28 日から 9 月 29 日 サンコー企画(株) 藤原 寛さん

私は 2 日目中心に参加してまいりました。行って思ったことは「もっと早めに行けば良かった」ということです。会場の広さや人の多さでびっくりでしたが、会場での他社の若手の安全衛生活動の説明に熱意をヒシヒシと感じ、またそれを積極的に真剣に聴講している姿勢がとても印象的でした。

講演で中村早岐子先生の「ほめるコミュニケーションが生む職場の活力とモチベーション」の聴講では人の育成の難しさより楽しさを知ることができました。以下がポイントです。

- ・ 若い世代にはプラス言葉で応援する。その違和感を楽しみ、言葉だけではなく、表情や身体をつかって感じる。
- ・ 成長と貢献。人と比べない。何を考えているのか決して探らない。
- ・ ほめる・ほめられることへの訓練し、自己愛を高めてあいさつしよう。その人の価値を発見しよう。特に中堅やベテランには訓練が必要。
- ・ ピンチは自分の成長につながる。人生を豊かにする。視点を変える。
- ・ 「でも」「だって」「どうせ」の 3D は負の連鎖、「すごい」「流石」「素晴らしい」の 3S は正の連鎖を増やす努力。
- ・ 本気で拍手をしよう！！本気でうなずこう！！本気で笑顔でいよう！！
- ・ 「事実」と「ありがとう」が普通に言えるか言えないか
- ・ 正論の正論は相手を傷つけることを十二分に理解する。

### 【視察で感じたこと】

熱心な参加者に感謝すると共に、安全衛生に関し、孤軍奮闘している私にとってとても大きな勇気をもらいました。これだけ仲間がいるのだと。これからもこの機会からうまれた資産を有効活用し、地域に位置する企業として、地元へ貢献できるようドンドン機会の輪を広げていければと勝手に思った次第です。この機会を与えて頂き、本当にありがとうございました。

## 第 82 回 全国産業安全衛生大会 視察レポート

賀谷セロファン株式会社 田中 利充さん

### 【特に参考になった発表】

- ① 高齢化対策「いきいき健康プログラム」の取り組み(トヨタ自動車(株)安全健康推進部)  
9/28(木)第1展示館 C No.7
  - ・ コロナ感染拡大時等でも継続していけるような、環境に左右されないプログラムづくりが必要
  - ・ 厚生労働省の「エイジフレンドリーガイドライン」を参考に、運動機能改善に取り組んだ。「体力テスト」の実施と「InBody」を採用した体力測定を実施。毎年測定し改善が必要な社員には個別指導で PDCA を回す。
- ② 製造現場に寄り添ったエイジマネジメント活動(トヨタ自動車九州(株)安全健康管理部)  
9/29(金)イベント館2階 イベントホール No.1
  - ・ 10 年以上前から危惧されていた社員の高年齢化問題がついに顕在化している。
  - ・ いつまでも生き活きと働き続けられる人・職場づくりを目指し、体力測定の実施や低体力者に4ヶ月クールでのトライを実施。
  - ・ 「プラチナシニア制度」という人事制度をつくり、定年後も体力面の衰えがなく(少なく)会社が認定した者には「プラチナシニア」として認定し、待遇面で定年前と同等にしている。  
→シニア層のモチベーション維持・向上
- ③ 令和5年度日本化学工業協会 安全最優秀賞受賞事業所「デンカ(株)渋川工場」の安全活動  
9/29(金)第3展示館 第1会場 特別報告
  - ・ 「設備の本質安全化」を目指す→形式的な安全化では不十分
  - ・ 「見守りカメラ」を工場内に多数設置 → 監視ではなくあくまで安全対策として設置

### 【視察で感じたこと】

今回初めての参加でしたが、これだけ多くの事例発表を一度に聴講することができるということに驚きと 今まで参加しなかったことに後悔を覚えると同時に、どの発表も本当に素晴らしい取り組みばかりで大変 参考になりました。またこのような機会を与えてくださった協会の皆さまに感謝申し上げます。



# その他の方が参加した研究発表や講演です。

## 9月28日<メンタルヘルス・健康づくり・健康経営分科会> 倉元代表幹事参加例

- 1) 9:50～10:10 ②未来の自分への健康な体を届けるITベンチャーの食への取り組み
- 2) 10:10～10:40 【特別報告】労働者の健康確保と健康保持増進のために(愛知労働局)
- 3) 10:50～11:10 ③ダイセル播磨工場における食行動変容の取り組みについて
- 4) 11:10～11:30 ④健康KPIの設定と、健康行動の実践/定着のための取り組み
- 5) 12:50～13:50 【講演】労働者における勤務状況・生活習慣とストレス及び生活習慣病の関係(+情報提供)

## 9月29日(金)DX等分科会 その他1名以上参加例(以下同じ)

- 9:30 夜間広域警備への自動飛行ドローンの適用※
- 10:10 3D点群スキャナを用いた測定による感電リスクの低減※
- 10:30 医療職業務のPowerPlatformを使用したDX化の取り組み※
- 11:00 デジタル技術を活用した個人用保護具適正使用の推進※

## 9月29日(金)安全管理活動分科会(第3会場)

- 9:30 製造現場に寄り添ったエイジマネジメント活動※

## 9月28日(木)安全衛生教育分科会

- 10:20 新瞬間KYTによる危険感受性の維持・向上と背後要因を用いた職場リスク削減活動
  - 10:50 コロナ禍で対応したリモート安全道場の教育実施
  - 11:10 社内教育「ユウラク専門学校」の立ち上げから現在に至るまで～学ぶ側から教える側へ～
  - 11:30 安全の取り組みの核となる所内版「安全を担うフォアマン」の育成と活用
  - 12:50 講演ほめるコミュニケーションが生む職場の活力とモチベーション※
- オフィスファイン代表ほめる感動経営コンサルタント(一社)日本ほめる達人協会特別認定講師  
(一社)感動経営コンサルタント協会中村早岐子

ほめ達(ほめる達人)が伝える「ほめる」とは価値を発見して伝えること。職場だけではなく、家庭や身近な環境でもすぐ実践できて効果が実感できるほめるコミュニケーションのコツが紹介されました。新しく「ほめる」アプリを自分にインストールします。

講演内容の主なものを記すと、①「ほめる」価値を発見して伝えること②成長と貢献の実感③すぐに役立つ「ほめて⇒認めて⇒アドバイス」の3ステップ④すぐできる職場の「ほめるメソッド」⑤その他について本来、2時間の内容を1時間に短縮し講演された。

- 講演で中村早岐子先生の「ほめるコミュニケーションが生む職場の活力とモチベーション」の聴講では人の育成の難しさより楽しさを知ることができました。以下がポイントです。
- ・若い世代にはプラス言葉で応援する。その違和感を楽しみ、言葉だけではなく、表情や身体をつかって感じる。
  - ・成長と貢献。人と比べない。何を考えているのか決して探らない。
  - ・ほめる・ほめられることへの訓練し、自己愛を高めてあいさつしよう。その人の価値を発見しよう。特に中堅やベテランには訓練が必要。
  - ・ピンチは自分の成長につながる。人生を豊かにする。視点を変える。
  - ・「でも」「だって」「どうせ」の3Dは負の連鎖、「すごい」「流石」「素晴らしい」の3Sは正の連鎖を増やす努力。
  - ・本気で拍手をしよう!!本気でうなずこう!!本気で笑顔でいよう!!
  - ・「事実」と「ありがとう」が普通に言えるか言えないか。
  - ・正論の正論は相手を傷つけることを十二分に理解する。

昨今、従業員の離職の要因の一つに「職場の人間関係が好ましくなかった」ことを理由に挙げているケースもあり、厳しい上司や先輩との関わりにストレスを感じてしまい仕事そのものがつらくなってしまおうといったことも見過ごされていることはないのか。  
できて「当たり前」、気になるところは「注意」、アドバイスのつもりで伝えていることが

自信を持ってない従業員には、それが厳しい「言葉」になって聞こえてくる。  
一般的に人間は、どうしても「足りない」ところを探しアドバイスすることに傾注されるという。  
その改善策として、講演内容③にある「ほめて⇒認めて⇒アドバイス」について説明された。「良いところ」をしっかり伝えること。「当たり前」となりがちなことも「良いところ」を見逃さずしっかり目を向け「ほめる」そして対処されたことを「認める」また、不足しているところについては「アドバイス」していくことが大事であり、そのような取り組みすることにより信頼関係につながりまたコミュニケーションを高め「職場の活性化」に結びつくことを強調された。  
今回の、講演資料の中に「ほめるコミュニケーション」が定着する効果について記してあったので紹介したい。

- ・高いモチベーションを維持することができる。
- ・起きる出来事に左右されない考え方や、ネガティブをポジティブに捉える思考法が身につき、落ち込みにくくなる。
- ・モチベーションが下がる前に対象ができるようになる
- ・発言や行動が前向きになり、人間的に成長する。

など参考にされてはいかがでしょうか。  
最後に今回の講演を傾聴し「職場の活力とモチベーション」の基本的な職場のコミュニケーションづくりという点で「ほめて⇒認めて⇒アドバイス」に結びつけることが「職場の活性化」敷いては「企業の繁栄」に結びつくことを認識した貴重な講演であった。

## 9月28日(木)メンタルヘルス・健康づくり・健康経営分科会

9:30 食育活動推進によるヘルスリテラシーの向上

9:50 未来の自分へ健康な体を届ける IT ベンチャーの食への取り組み※※

10:10 特別報告労働者の健康確保と健康保持増進のために※※

10:50 ダイセル播磨工場における食行動変容の取り組みについて※※

11:10 健康 KPI の設定と、健康行動の実践/定着のための取り組み※※

11:30 特別報告「コロナ禍がもたらした生活習慣等の変化～愛知県三河地区各労働基準協会の調査～

14:00 全豊田安全衛生研究会健康部会における「健康チャレンジ8」の取り組みについて※※

14:40 高齢化対策「いきいき健康プログラム」の取り組み※※※

15:10 高年齢社員への健康支援と職域拡充～転倒等リスク評価セルフチェックを通じて～※※

15:30 当院での職業性腰痛予防対策の実践活動報告～医療安全委員会を通じて～

10:10 特別報告職場におけるハラスメントをなくすために

10:50 シンポジウムポジティブ・メンタルヘルスで元気に働く～「職場の強み」に注目した事業場での取り組み～  
第1部: 基調講演「ポジティブ・メンタルヘルスとは」※※

「ポジティブメンタルヘルス」とは、働く人が心もからだも健康な状態で元気に働いて、生産性の向上や組織の活性化を目指す取り組みです。メンタルヘルス不調者への対応や高まったストレスを軽減化する対策は大切です。しかし、良好な状態で前向きな心の健康を意識した「ポジティブ・メンタルヘルス」の取り組みも大切です。そのためには「個人」と「仕事」のいずれの資源も充実させることにあります。本パネルディスカッションでは、「ポジティブ・メンタルヘルス」について解説されるとともに、事業場での取り組みを紹介されました。

13:20 Office365 を活用した新たな職場支援の検討※※

13:40 ウェアラブルデバイスを活用した新たな健康づくり施策※※

14:10 講演「コロナ禍、DX がもたらす職場の変化と働く人のメンタルヘルス」※※